USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

PE5120

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのBenQ PE5120の交換用ランプは、現在入手可能です。



BenQ PE5120プロジェクターランプ

部品番号：59.J9901.CG1 / 65.J8601.001
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Benq/PE5120.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

BenQ

PE5120 デジタル プロジェクタ
家庭用ホームエンターテイメントシリーズ
ユーザーズ ガイド

Welcome

著作権

Copyright © 2005 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、本会社 の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

本会社は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、本会社は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

*DLP 、Digital Micromirror Device 、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の商標については、それぞれの企業または組織が著作権を保有しています。

目次

安全のための注意、規則、法規について 5
FCC 規則（米国用） 5
EEC 規則（ヨーロッパ用） 5
MIC 規則 5
安全にお使いいただくために 5
結露 6
揮発性液体は使用しないでください 6
処理 6
概要 7
機能 7
アクセサリ 7
プロジェクタ外観ビュー 7
前面 / 上面 7
背面 8
底面 8
背面コネクタパネル 8
制御装置および機能 9
プロジェクタ 9
リモートコントロール 9
設置 11
場所の選択 11
スクリーンサイズの調整 12
16:9 スクリーンに対してプロジェクタを天井に取り付ける場合 12
16:9 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合 12
4:3 スクリーンに対してプロジェクタを天井に取り付ける場合 13
4:3 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合 13
接続 14
ビデオ入力との接続 14
コンポーネントビデオ機器との接続 14
S ビデオまたはビデオ機器との接続 14
コンピュータとの接続 14
プロジェクタとリモコンの使い方 15
準備 15
起動 15
入力信号の切り替え 15
イメージの調整 15
角度と高さの調整 15
イメージの自動調整 16
キーストーンの補正 16

ズームと焦点合わせ 16
最適化 17
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ 17
終了 18
オンスクリーン ディスプレイメニューの使い方 19
メニューシステム 19
オンスクリーン ディスプレイメニューの使い方 19
画像メニュー 20
高画質画像メニュー 21
設定メニュー 21
高度な設定メニュー 21
情報メニュー 21
メンテナンス 22
プロジェクタのお手入れ 22
レンズのクリーニング 22
プロジェクタケースのクリーニング 22
プロジェクタの保管 22
プロジェクタの移動 22
ランプの交換
（BenQ 販売店にお問い合わせください） 22
インジケータのライト 24
サービス情報 24
トラブルシューティング 25
仕様 26
光学仕様 26
電気仕様 26
入力端子 26
出力端子 26
機械仕様 26
寸法 26

1 安全のための注意、規則、法規について

高性能 BenQ ビデオプロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます！本製品はホームシアターもお楽しみいただけるよう設計されています。最高の結果をお楽しみいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

FCC 規則（米国用）

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。

クラス B：本装置は無線周波数エネルギーを発生、使用、放射するため、指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な干渉を起こす恐れがあります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が原因で、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉が発生している場合（装置の電源を切ることによって判別できます）、必要に応じて次の対策を施し、干渉を防止してください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路と異なる回路のコンセントに本装置を接続する。
- 販売代理店やラジオ / テレビ関係の熟練技術者に相談する。

EEC 規則（ヨーロッパ用）

本製品は EMC（Electro Magnetic Compatibility：電磁的両立性）に関する ECC 指令 89/336/EEC に適合することが試験の結果確認されています。

MIC 規則

B クラス装置（家庭用情報 / 電気通信装置）

本装置は家庭用として EMC 登録を受けているため、本製品は住居地域を含む任意の地域で使用できます。

安全にお使いいただくために

お使いの BenQ プロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本プロジェクタを安全にご使用いただくために、このガイドおよびプロジェクタのマークに記載されている指示に従ってください。

1. プロジェクタのキャビネットは開けないでください。感電する恐れがあります。ユーザーが保守可能な内部部品はありません。点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。組み立て方法に誤りがあると、プロジェクタを使用するときにプロジェクタの誤作動や感電の恐れがあります。
2. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。このユーザーガイドは、後で参照できるよう大切に保管してください。
3. 修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。
4. プロジェクタのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
5. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。光線が強力なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
6. 国によっては、電源電圧が一定していない場合もあります。プロジェクタは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置（UPS）にプロジェクタを接続することをお薦めします。
7. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。

8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクタの電源プラグを抜いてから行ってください。
10. プロジェクタは安定した場所に設置してください。プロジェクタが落下して、重大な損傷を受ける恐れがあります。
11. プロジェクタを天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。天井に取り付ける場合は、BenQ の天井取り付けキットを使用し、しっかりと固定してください。
12. 通気孔をふさがないでください
    - プロジェクタをブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - プロジェクタの上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。

    通気孔がふさがれると、プロジェクタの内部が過熱し、火災が発生することがあります。
13. 次の場所にプロジェクタを置かないでください。
    - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。
    - 火災報知器に近い場所。
    - 周辺温度が 35°C / 95°F を超える場所。
    - 高度が 10000 フィートを超える場所。
14. 使用時は必ずプロジェクタを水平な平面上に置いてください。
    - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15°を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクタを使用すると、ランプが故障したり損傷することがあります。
15. プロジェクタを縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れけがをしたり、プロジェクタが損傷する恐れがあります。
16. プロジェクタの上に乗ったり、物を置かないでください。プロジェクタが物理的に損傷するだけでなく、事故やけがの原因になります。
17. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。

結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクタを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクタの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも 2 時間以上経過してから装置を使用してください。

揮発性液体は使用しないでください

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態で放置しないでください。装置に痕が残ってしまいます。装置のクリーニングを行う場合は、安全のための指示にしたがってください。

処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード （はんだに使用されています）
- 水銀 （ランプに使用されています））

本装置や使用済みランプの正しく処分方法については、地元の環境保護窓口にお問い合わせください。

2 概要

機能

このプロジェクタは高性能な光学エンジン投写技術とユーザーフレンドリーな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。

このプロジェクタには次のような機能があります。

- 携帯性に優れたコンパクト設計
- 最善の画質で表示するワンキー自動調整機能
- 超高輝度投写ランプ
- 1670 万色の表示能力
- 10 か国語のオンスクリーンメニュー：英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、日本語、韓国語
- 8 セットのプリセットモード
- 5 つのセグメントを持つカラーホイール
- 高品質な AV イメージを実現する強力な AV 機能
- 省電力モード時のノイズレベル 26dB
- ネイティブ縦横比 16:9
- HDTV との互換性

☞ **注意：投写イメージの明るさは、周辺光の状態およびコントラスト / 輝度設定によって変わります。**

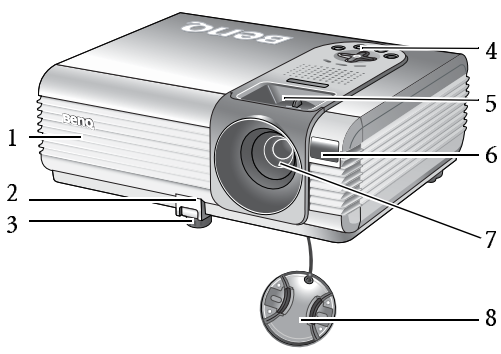
アクセサリ

プロジェクタに標準で同梱されているアクセサリは、クイックスタートガイドに記載されています。別売りアクセサリには下にリストするようなものがあります。これらのアクセサリはプロジェクタ販売店でご購入いただけます。26 ページには全アクセサリの部品番号がリストされています。販売元から適切な部品を取得することに役立ちます。

1. 天井取り付けキット
2. スペアランプキット
3. DVI ケーブル

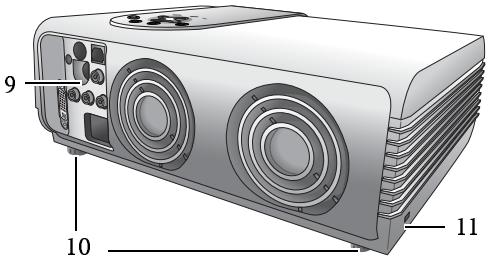
プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面



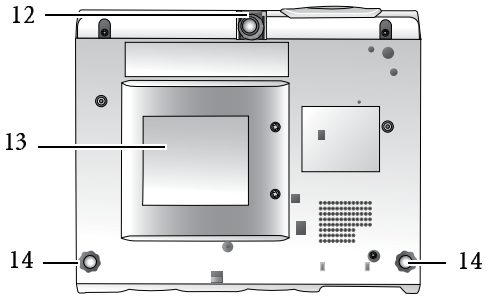
1. **通気孔**
2. **前面アジャスタボタン**
3. **前面アジャスタ フット**
4. **外部コントロールパネル（詳細は 9 ページを参照してください）**
5. **ピントリングおよびズームリング**
6. **前面赤外線リモートセンサ**
7. **投写レンズ**
8. **レンズキャップ**

背面



9. コネクタパネル（詳細は下の説明をお読みください）
10. 背面アジャスタ フット
11. **Kensington** ロック スロット

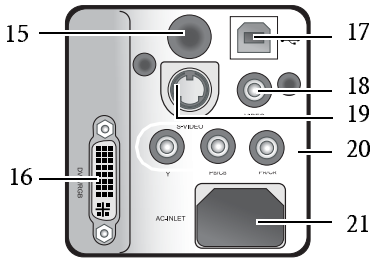
底面



12. 前面アジャスタ フット
13. ランプドア
14. 背面アジャスタ フット

背面コネクタパネル

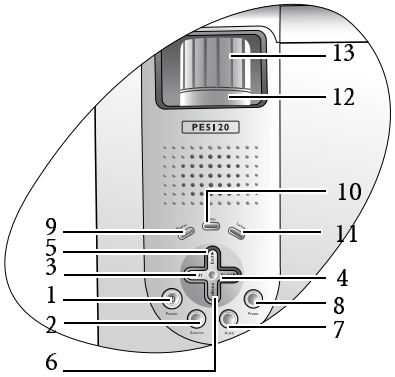
各種機器への接続については、15 ページを参照してください。



15. 背面赤外線リモートセンサ
16. **DVI-I** ビデオ デジタル入力
17. **USB** ポート （サービス用）
18. コンポジット ビデオ アナログ入力
19. **S** ビデオ入力
20. コンポーネントビデオ入力
21. 電源コードソケット

制御装置および機能

プロジェクタ



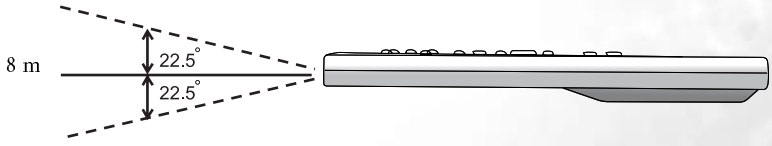
1. **Power （電源）（詳細については、16 ページと 20 ページを参照してください）**
   プロジェクタのオン / オフを切り替えます。
2. **Source （ソース）（詳細については、16 ページを参照してください）**
   入力信号をコンポーネントビデオ , DVI-D, ビデオ , S ビデオ と DVI-A の順に選択します。
3. **◀ 左**
4. **右 ▶**
   スクリーンメニューを表示していない場合、#3 および #4 はキーストーン -/+ ホットキーとして機能します。
5. **▲Exit （終了）**
   終了し、メニューの設定を保存します。
6. **▼Menu （メニュー）**
   オンスクリーンメニューをオンにします。
   オンスクリーンメニューが有効な場合、#3 から #6 のボタンを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

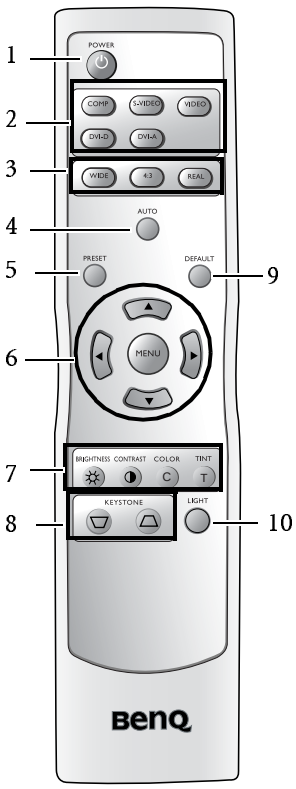
   詳細については、21 ページを参照してください。
7. **Auto （自動）（詳細については、17 ページを参照してください）**
   表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。
8. **Preset （プリセット）（詳細については、19 ページを参照してください）**
   プログラムタイプに最も合ったプリセットモードを選択してください。
9. **Power 電源インジケータライト （詳細については、26 ページを参照してください）**
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。
10. **Temp 温度警告ライト （詳細については、26 ページを参照してください）**
    プロジェクタの温度が異常に高くなると点灯します。
11. **Lamp ランプインジケータライト （詳細については、26 ページを参照してください）**
    ランプの状態を表示します。ランプに問題が発生した場合に点灯します。
12. **ズームリング （詳細については、18 ページを参照してください）**
    画像のサイズを調整します。
13. **ピントリング （詳細については、18 ページを参照してください）**
    投写イメージの焦点を調整します。

リモートコントロール

☞ **リモコン操作に関する注意**

- リモコンとプロジェクタの間に赤外線を遮断する障害物がないかどうかを確認します。
- リモコンの有効範囲はプロジェクタの前後 8 メートル以内となっています。リモコンはプロジェクタの IR リモコンセンサから 22.5 度以内で使用してください。

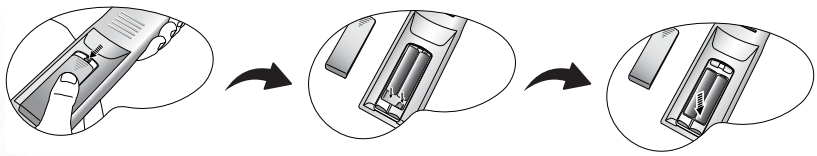




1. **POWER（電源）（詳細については、16 ページと 20 ページを参照してください）**
   このボタンを 1 秒間押しつづけるとプロジェクタがオンになります。プロジェクタをオフにするにはこのボタンを 2 回押してください。
2. **Source（ソース）（詳細については、16 ページを参照してください）**
   プロジェクタに表示する入力信号を選択します。
3. **Aspect （縦横比）**
   入力信号に合わせてイメージの縦横比を選択します。
4. **AUTO（自動）（詳細については、17 ページを参照してください）**
   表示画像に最適なピクチャタイミングを自動的に決定します。
5. **PRESET（プリセット）（詳細については、19 ページを参照してください）**
   プログラムタイプに最も合ったプリセットモードを選択してください。
6. **MENU（メニュー）と方向 （▲/◀/▼/▶）（詳細については 21 ページを参照してください）**
   MENU を押すと、オンスクリーンメニューがオンになります。
   メニュー項目の選択と調整を行うには、方向ボタンを押してください。
   再度 MENU を押すと、メニュー設定を保存して終了します。
7. **画質調整ボタン（詳細については、22 ページを参照してください）**
8. **KEYSTONE（キーストーン）（詳細については、17 ページを参照してください）**
   ▽ を押すとイメージの上部分を縮小します。△ を押すとイメージの下部分を縮小します。
9. **DEFAULT（デフォルト）**
   すべての設定を工場出荷時の値に戻します。
10. **LIGHT（ライト）**
    リモコンのバックライトのオン / オフを切り替えます。

リモコンの電池の交換

1. バッテリーコンパートメントのカバーを矢印の方向に押すと開きます。
2. コンパートメント内部に示されている図の方向に電池を挿入します。
3. カバーのヒンジを先にコンパートメントに挿入して閉じます。



⚠ 電池の取り扱いに関する注意

- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池を交換するときには、極性に注意してください。交換方法が不適切だと、電池が破裂する危険があります。
- 使用済みの電池は同じタイプの電池か、メーカーが指定する同等タイプの電池と交換してください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

3 設置

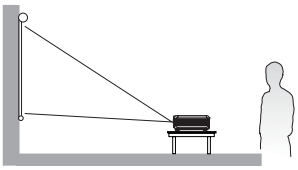
場所の選択

プロジェクタは次の 4 種類の場所に設置することができます。

1. 床面前面
2. 天井前面
3. 床面背面
4. 天井背面

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

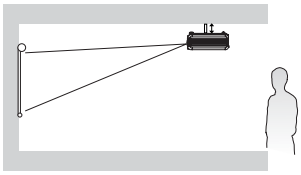
I. 床面前面：
プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。



II. 天井前面
プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

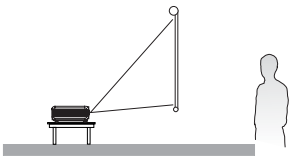
プロジェクタをオンにしたら、ミラー > **設定**メニューで を設定してください。



III. 床面背面：
プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。

専用な背面投写スクリーンが必要です。

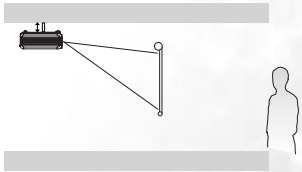
プロジェクタをオンにしたら、ミラー > **設定**メニューで を設定してください。



IV. 天井背面：
プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。

専用な背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

プロジェクタをオンにしたら、ミラー > **設定**メニューで を設定してください。



設定メニューのオプションと説明については、23 ページを参照してください。

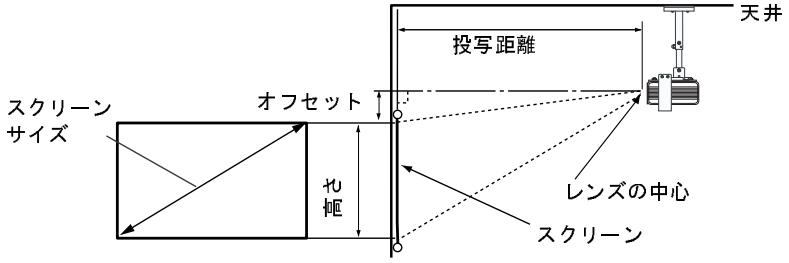
スクリーンサイズの調整

イメージの投写サイズに応じて、プロジェクタのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、ビデオフォーマットの各ファクタなどを調整します。16:9 と 4:3 の両サイズ用の表を用意しましたので、プロジェクタを設置する場所を決定する際参照してください。

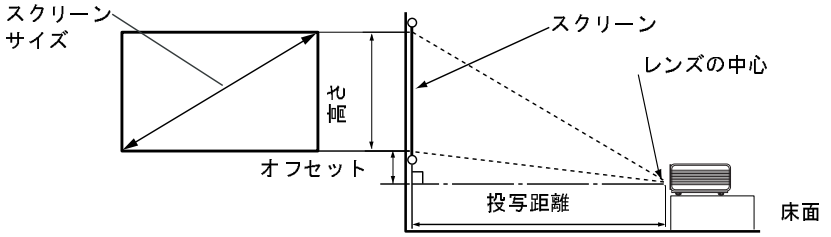
1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. 使用するスクリーンのタイプに基づいて、下の 16:9 スクリーンサイズ表か、4:3 スクリーンサイズ表から任意の**スクリーンサイズ**を選択します。**最短距離** と **最長距離**の間の範囲内にプロジェクタを設置してください。投写距離 は表に示してあります。
3. プロジェクタの高さを決定します。

たとえば対角線の長さが 80 インチの 16:9 スクリーンに投写する場合は、スクリーンから 2.76m から 3.39m 離れた場所にプロジェクタを設置するようお薦めします。このときのプロジェクタの高さは、レンズの中央からスクリーンの上下 33 から 34cm 以内になります。

16:9 スクリーンに対してプロジェクタを天井に取り付ける場合



16:9 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合

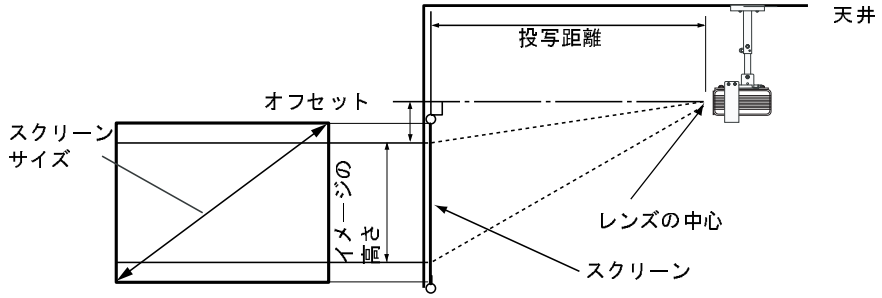


16:9 （ワイドスクリーン）スクリーンサイズ表

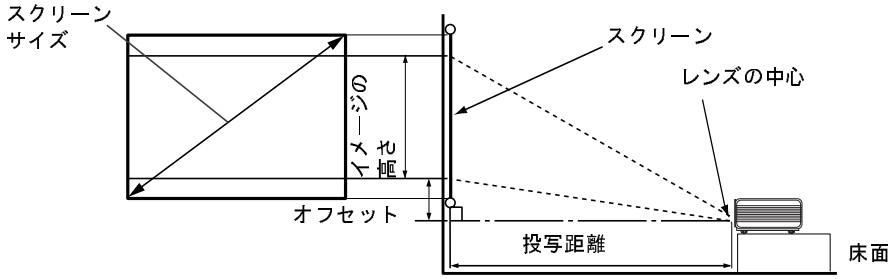
スクリーンサイズ			投写距離		高さ	
対角線（インチ）	高さ（cm）	幅（cm）	最低値（cm）	最高値（cm）	距離（cm）	幅（cm）
50	62	111	173	212	21	20
60	75	133	207	254	25	25
70	87	155	242	297	29	29
80	100	177	276	339	34	33
90	112	199	311	381	38	37
100	125	221	345	424	42	41
110	137	244	380	466	46	45
120	149	266	414	508	50	49
130	162	288	449	551	55	53
140	174	310	483	593	59	57
150	187	332	518	636	63	61
160	199	354	553	678	67	65
170	212	376	587	720	71	70
180	224	398	621	763	76	74
190	237	421	656	805	80	78
200	249	443	691	847	84	82

この表からプロジェクタのレンズがスクリーンから 1.73 ～ 8.47m の距離に収まるように設置すると、投写イメージがフルスクリーンで 1.11 x 0.62m ～ 4.43 x 2.49m になることが分かります。

4:3 スクリーンに対してプロジェクタを天井に取り付ける場合



4:3 スクリーンに対してプロジェクタを床面に設置する場合



4:3 （標準）スクリーンサイズ表

スクリーンサイズ			投写距離		高さ		イメージの高さ (cm)
対角線（インチ）	高さ (cm)	幅 (cm)	最低値 (cm)	最高値 (cm)	距離 (cm)	幅（cm）	
50	76	102	173	212	21	20	62
60	91	122	207	254	25	24	75
70	107	142	242	297	29	29	87
80	122	163	276	339	34	33	100
90	137	183	311	381	38	37	112
100	152	203	345	424	42	41	125
110	168	224	380	466	46	45	137
120	183	244	414	508	50	49	149
130	198	264	449	551	55	53	162
140	213	284	483	593	59	57	174
150	229	305	518	636	63	61	187
160	244	354	553	678	67	65	199
170	259	376	587	720	71	70	212
180	274	398	622	763	76	74	224
190	290	421	656	805	80	78	237
200	305	443	691	847	84	82	249

☞ これらの数値は実際の値とは若干の誤差があるかもしれません。

この表からプロジェクタのレンズがスクリーンから 1.73 ～ 8.47m の距離に収まるように設置すると、投写イメージが 1.02 x 0.62m ～ 4.43 x 2.49m になることが分かります。

4 接続

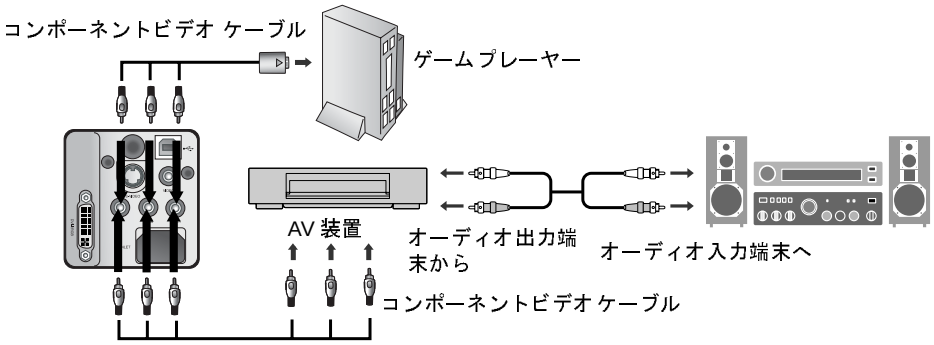
信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点に注意してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。
4. すべてのオーディオ信号を外部スピーカーに接続します。このプロジェクタにはスピーカーは付いていません。

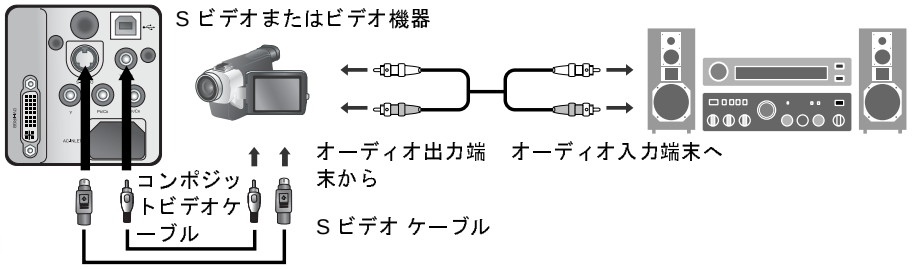
☞ **標準パッケージには特定のケーブルしか同梱されていません。他のケーブルが必要な場合は、本製品を購入された販売店か、お近くの電気店にお問い合わせください。**

ビデオ入力との接続

コンポーネントビデオ機器との接続

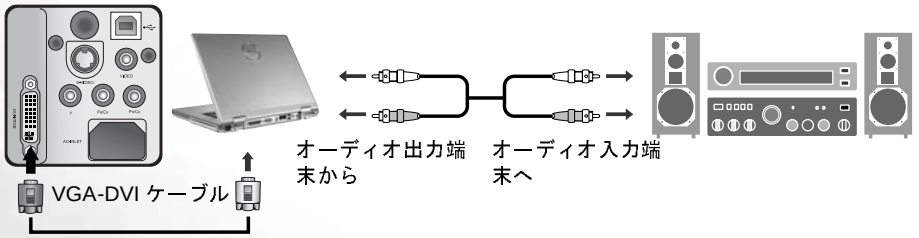


S ビデオまたはビデオ機器との接続



☞ **電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

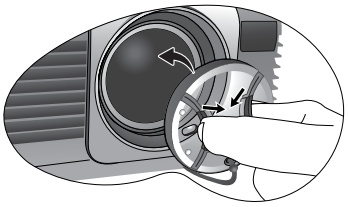
コンピュータとの接続



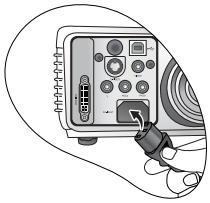
5 プロジェクタとリモコンの使い方

準備

1. 接続したすべての機器の電源をオンにします。
2. レンズキャップを外します。

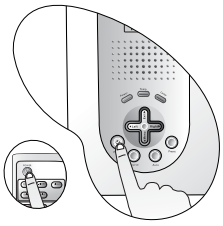


3. 電源コードをプロジェクタ背面のソケットに差し込みます。
4. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。



起動

1. 電源を入れると、Power （電源）インジケータがオレンジ色になります。
2. プロジェクタまたはリモコンの Power ボタンを数秒間押し続けるとプロジェクタがオンになります。ウォームアップ中は電源インジケータが約 30 秒点滅し、その後準備ができたらインジケータが点灯します （プロジェクタが投写を開始します）。
3. プロジェクタまたはリモコンの Source （ソース）ボタンを押して、入力信号を選択します。ポートが検出されると、画面にメッセージが表示されます。



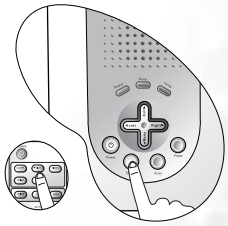
入力信号を変えるには、下の説明をお読みください。

入力信号の切り替え

入力信号を切り替えるには、リモコンかプロジェクタの Source （ソース）ボタンを押してください。

選択したソースはスクリーンの右下隅に 3 秒間表示されます。

プロジェクタに自動的に入力ポートを検出させたい場合は、Advance （高度な設定）メニューの Source Scan （ソーススキャン）機能を有効にします。プロジェクタが入力信号を検出するには数秒間かかります。

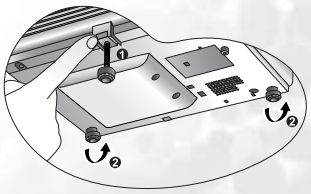


イメージの調整

角度と高さの調整

プロジェクタにはクイックリリース アジャスタフットが 1 つ、背面アジャスタフットが 2 つ備え付けられています。これらのアジャスタを使って、イメージの高さと投写角度を調整します。プロジェクタを調整するには、次の手順にしたがってください。

1. プロジェクタを持ち上げ、アジャスタボタンを押してアジャスタを解放します。アジャスタが所定の位置に下りて固定されます。最高 15 度までプロジェクタを持ち上げることができます。手動でアジャスタを回して高さの微調整を行います。
2. 背面アジャスタフットを回して、イメージが水平に投写されるようにプロジェクタを安定させてください。



イメージの自動調整

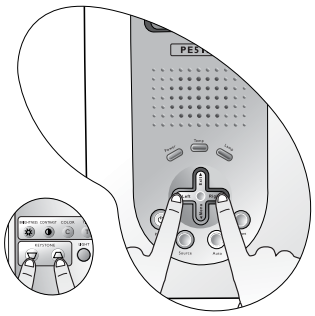


プロジェクタまたはリモコンの Auto（自動）ボタンを 1 回押すと、組み込まれているインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、最適な画質が得られます。

下図のように、現在のソース情報がスクリーンの右下隅に 3 秒間表示されます。

☞ **自動調整機能が作動している間は、スクリーンは消画の状態になります。**

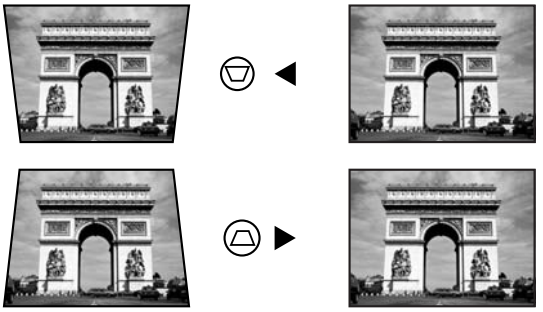
キーストーンの補正



キーストーン ▽ は、プロジェクタがスクリーンに対して垂直でない場合に発生します。これは投写イメージの上部または下部が広がってしまう状態のことです。

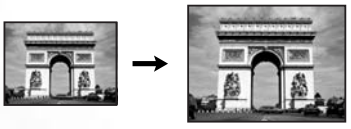
プロジェクタの位置を変えられない場合は、次のいずれかの方法によって手動で補正することができます。

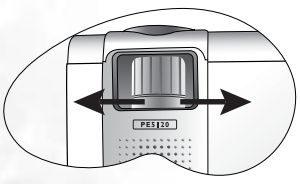
- プロジェクタの ◀ **左** または **右** ▶（ホットキー）を押し、［キーストーン］というステータスバーを表示します。イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、◀ **左** を押します。イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、**右** ▶ を押します。
- リモコンの ▽ または △ を押して、［キーストーン］というラベルの付いたステータスバーを表示してから、イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、▽ を押し、イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、△ を押します。



ズームと焦点合わせ

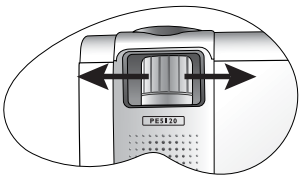
1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。





2. 次にピントリングを回して焦点を合わせます。





最適化

イメージを最適化するにはリモコンかオンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニューの操作方法については、21 ページを参照してください。

次の手順は任意で行ってください。必ずしもすべての手順に従う必要はありません。画質の状態によって調整を行ってください。

1. プロジェクタ、リモコン、または  **画像メニュー** > **プリセットモード**でプリセットモードを選択します。
   それぞれの信号に対して 4 つのモードがあります。

   DVI-A / DVI-D ビデオ入力

   - プレゼンテーションモード：プレゼンテーション用のモードです。このモードでは輝度が強調されます。
   - ビビッドモード：ゲームに適しています。彩度と輝度のバランスが良い点が特長です。
   - ビデオモード：自然光の中でシネマを楽しむのに適しています。
   - 省電力モード：システムのノイズと電力消費量を 20% 削減します。ライトも暗くなるためランプの寿命も長くなります。

   コンポーネントビデオ / RCA アナログビデオ / S ビデオ入力

   - ゲームモード：明るいリビングルームなどでビデオゲームをするのに適しています。
   - ビデオモード：色温度が高く、TV で映画を見るのに適しています。
   - シネマモード：色温度が低く、シネマを見るのに適しています。
   - 省電力モード：システムのノイズと電力消費量を 20% 削減します。ライトも暗くなるためランプの寿命も長くなります。
2. リモコンまたは  **高画質な画像** > **縦横比**を使用して、イメージの縦横比を変更します。
3. DVI-A または DVI-D イメージの輝度およびコントラストの値は、 **画像**メニューかリモコンを使って調整することができます。またコンポーネントビデオ、コンポジット ビデオ、または S ビデオ入力信号を表示しながら、輝度、コントラスト、色 § 色合いなどの設定を調整することもできます。

☞ **項目によっては、特定の入力ポートを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。各信号タイプで有効な機能については、21 ページを参照してください。**

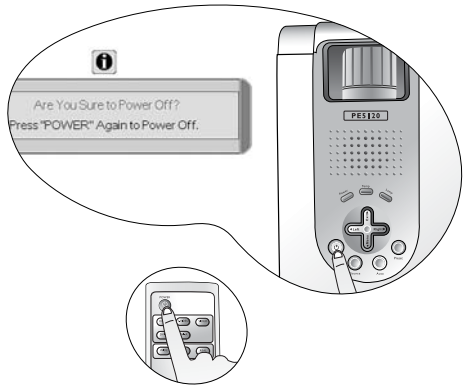
プロジェクタのメニューディスプレイのカスタマイズ

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューは自由に変えることができます。これらの設定は投写設定、操作、性能には影響しません。

-  **設定**メニューの **OSD 時間**では、ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。
-  **設定**メニューの**言語**では、オンスクリーンメニューの言語を選択します。
-  **高度な設定**メニューの**ユーザーロゴ**では、プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を選択します。

終了

1. Power（電源）を押すと警告メッセージが表示されます。Power をもう一度押すと、プロジェクタの電源がオフになります。
2. **電源インジケータライト**が点滅してランプが消灯した後、プロジェクタを冷却するためにファンが約 110 秒間動作を続けます。



⚠ **ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。**

3. ファンが停止してから電源コードをコンセントとプロジェクタから抜いてください。

⚠ **プロジェクタ終了手順が完了する前、または 110 秒間の冷却プロセスの間は、電源コードを抜かないでください。**

プロジェクタの終了方法が不適切な場合、数時間以内にプロジェクタを再起動しようとすると、ランプを保護するため、数分間ファンが動作して冷却します。プロジェクタを起動するには、ファンが停止した後にもう一度、電源を押します。

6 オンスクリーン ディスプレイメニューの使い方

メニューシステム

OSD（On Screen Display）メニューは選択した信号の入力タイプにより異なります。

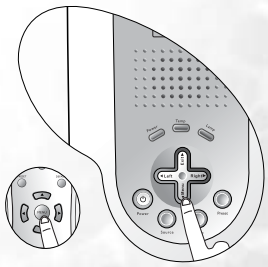
	受信信号のタイプにより使用可能な機能			
サブメニュー	DVI-A	DVI-D	コンポーネント ビデオ	コンポジット ビデオ / S ビデオ
画像	プリセットモード 色温度 輝度 コントラスト		プリセットモード 色温度 輝度 コントラスト 色 色合い * シャープネス	
高画質画像	縦横比 水平位置 垂直位置 位相 水平サイズ	縦横比		
設定	言語 ミラー キーストーン OSD 時間 リセット			
高度な設定	ソーススキャン ユーザーロゴ			
情報	ソース 解像度 プリセットモード ランプ時間 色温度			ソース システム プリセットモード ランプ時間 色温度

* コンポジット ビデオまたは S ビデオ信号が接続されているときには、この機能は NTSC 規格が選択されているときにしか使用することができません。

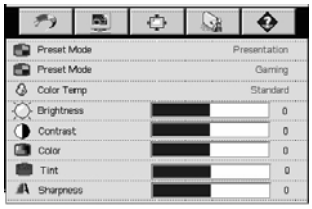
オンスクリーン ディスプレイメニューの使い方

プロジェクタは多国語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを備えており、各種調整や設定が行えます。メニューを選択する前に、設定 > 言語を選択して、OSD 言語を選択してください。

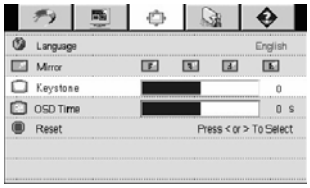
次の例では、キーストーンの調整を説明しています。



1. プロジェクタの **Menu**（メニュー）またはリモコンの Menu を押して、オンスクリーンメニューを表示します。.

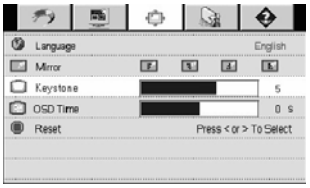


2. プロジェクタの ◀ 左または右 ▶ またはリモコンの ◀ / ▶ を使用して、 設定メニューを選択します。.



3. プロジェクタの ▲ **Exit**（終了）または ▼ メニュー またはリモコンの ▼ / ▲ を使用して、キーストーンを選択します。

4. プロジェクタの ◀ 左 または 右 ▶ またはリモコンの ◀ / ▶ を使用して、キーストーンの値を調整します。



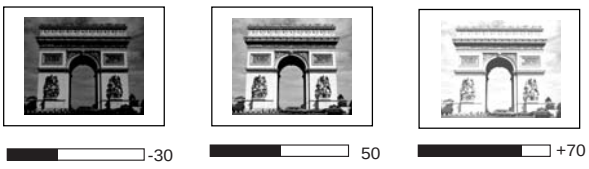
5. プロジェクタの ▲ **Exit**（終了）を 2 回押すか *、リモコンの **Menu**（メニュー）を押して終了し、設定を保存します

***1 回目にはサブメニューに戻り、2 回目にオンスクリーンメニューが閉じます。**

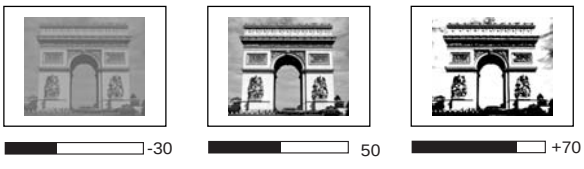
画像メニュー

☞ **項目によっては、特定の入力ポートを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。各信号タイプで有効な機能については、21 ページを参照してください。**

1. **プリセットモード**：プリセットモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタのイメージを設定することができます。詳細は 19 ページを参照してください。
2. **色温度**：3 種類の色温度設定が使用できます。
   - 標準：白の色合いを通常に保ちます。
   - 高：イメージを青みがかった白で表示します。
   - 低：イメージを赤みがかった白で表示します。
3. **輝度**：イメージの輝度を調整します。値を高くするほどイメージの輝度が増加します。逆に値を低くするほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。



4. **コントラスト**：イメージの明るさと暗さの差を調整します。値を高くするほどコントラストが増加します。



5. **色**：イメージの色強度を増減します。
6. **シャープネス**：イメージがシャープまたはソフトになるように調整します。
7. **色合い**：イメージの色調を調整します。値を高くするほど赤みがかったイメージになります。値を低くするほど緑がかったイメージになります。コンポジット ビデオまたは S ビデオ信号が接続されているときには、この機能は NTSC 規格が選択されているときにしか使用することができません。

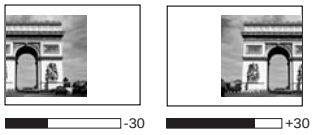
☞ *** 色温度について**

用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

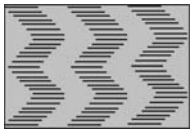
高画質画像メニュー

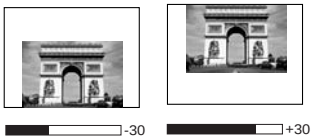
☞ **項目によっては、特定の入力ポートを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。各信号タイプで有効な機能については、21 ページを参照してください。**

1. **縦横比**：縦横比の設定は 16:9、4:3、Real の 3 種類があります。
2. **水平位置**：投写イメージの水平位置を調整します。



3. **垂直位置**：投写イメージの垂直位置を調整します。
4. **位相**：この機能を使用すると、クロック位相を調整して、イメージの歪みを減少させることができます。





5. **水平サイズ**：イメージの幅を調整します。

設定メニュー

1. **言語**：OSD コントロールメニューの言語を設定します。
2. **ミラー**：プロジェクタは天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。プロジェクタを天井に設置する場合は、販売店に連絡して、天井取り付け用ブラケット （別売りアクセサリ）をお求めください。詳細については、12 ページを参照してください。
3. **キーストーン**：イメージのキーストーンを補正します。詳細については、17 ページを参照してください。
4. **OSD 時間**：ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。5 ～ 100 秒の範囲で設定できます。
5. **リセット**：すべての設定を工場出荷時の値に戻します。

高度な設定メニュー

1. **ソーススキャン**：プロジェクタで自動的に入力信号を検出するかどうかを設定します。ソーススキャンがオンの場合、プロジェクタは信号を取得するまで入力信号をスキャンします。この機能が有効になっていない場合は、最後に使用した入力信号が選択されます。
2. **ユーザーロゴ**：プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面をユーザーが選択することができます。選択肢には以下の 3 つがあります。デフォルト （BenQ ロゴ）、黒画面、と青画面です。

情報メニュー

このメニューでは、プロジェクタの現在の操作状態を表示します。

1. **ソース**：現在の信号ソースを表示します。
2. **解像度**：入力信号のネイティブ解像度を表示します。
3. **システム**：ビデオ入力規格 （NTSC、SECAM、PAL）を表示します。
4. **プリセットモード**：  **画像** メニューで選択したモードを表示します。
5. **ランプ時間**：ランプの使用時間数を表示します。
6. **色温度**：選択した色温度を表示します。

7 メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。定期的に行う必要があるのは、レンズのクリーニングだけです。ランプを除き、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。ランプ以外の交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

- 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます （ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます）。
- 汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。

☞ **レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤やこすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。**

プロジェクタケースのクリーニング

レンズのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

- ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭いてください。

☞ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。**

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
- アジャスタフットを格納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

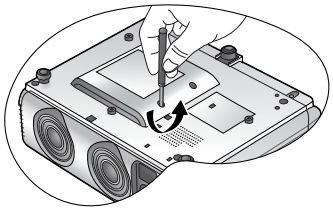
プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。ご自分で運ぶ場合は、添付の携帯用ソフトケースを使用してください。

ランプの交換
（BenQ 販売店にお問い合わせください）

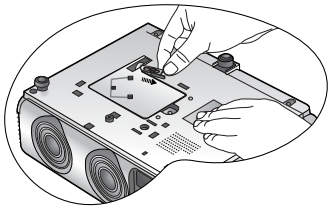
⚠ **ランプは大変高温になる場合があります。ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。**

このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。

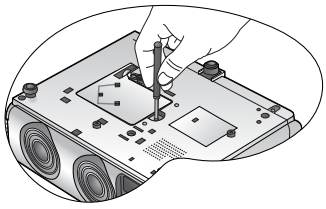
1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。
2. プロジェクタが完全に冷却されたら、プロジェクタを裏返します。次に図に示す通りネジを緩めて、ランプカバーを取り外します。



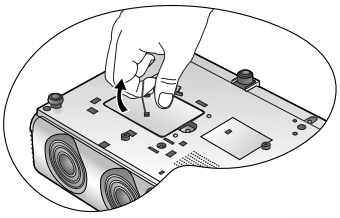
3. 図に示す通り、ラッチを反対側に移動させます。



4. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。指にけがをする恐れがあるので、ネジを完全に緩めてください。磁気ヘッドのドライバを使用することを強くお薦めします。



5. ハンドルを持ち上げて立てます。ハンドルを使って、ゆっくりとランプをプロジェクタから引き抜きます。

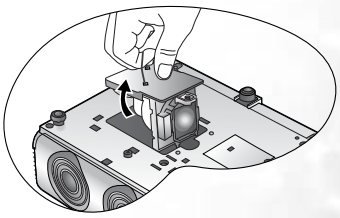


☞ **急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。**

☞ **取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。**

☞ **ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学部品に手を触れると、投写イメージの色が不均一になり歪む場合があります。**

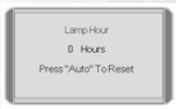
6. 新しいランプを挿入します。新しいハンドルの取り付けハンドルが完全にロックされていることを確認し、ネジをしっかりと締めます。



☞ **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**

☞ **ネジは締めすぎないでください。**

7. ランプカバーを再度取り付け、ネジを締めます。**ランプカバーを取り外しているときは、電源をオンにしないでください。ランプを交換した場合は、ランプの合計動作時間をリセットしてください。ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。**
8. **ランプカウンタのリセット**
   i. 次回プロジェクタを起動するときに、プロジェクタの Exit（終了）▲ ボタンを 5 秒間押し、ランプの合計時間を表示します。



   ii. プロジェクタまたはリモコンの Auto（自動）を押し、ランプ時間を「0」にリセットします。
   iii. OSD が消えるまで 5 秒ほどお待ちください。

インジケータのライト

プロジェクタの状態を示すインジケータライトは 3 個あります。インジケータライトの意味は、次の表を参照してください。インジケータライトが問題の発生を示している場合は、ライトの状態に注意しながら、プロジェクタの電源をオフにして販売店にお問い合わせください。

プロジェクタが正常の場合

電源	温度	ランプ	状態	備考
オレンジ	オフ	オフ	スタンバイモード	
緑色に点滅			プロジェクタはウオームアップ中です。	プロジェクタの電源をオフにできません。
緑			プロジェクタは通常動作中です。	
オレンジ色に点滅			(1) 通常の冷却プロセスを経過せずに異常終了したため、プロジェクタの冷却に 110 秒必要です。 または (2) 電源をオフにした後、プロジェクタの冷却に 110 秒必要です。	プロジェクタの電源をオンにできません。

プロジェクタが異常の場合

電源	温度	ランプ	状態	備考
オフ	オフ	赤	(1) プロジェクタは冷却に 110 秒必要です。または (2) 販売店にお問い合わせください。	
オフ	赤	オフ	プロジェクタが自動的に終了しました。	プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
オフ	赤	緑	プロジェクタが自動的に終了しました。	プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
オフ	赤	オレンジ	プロジェクタが自動的に終了しました。	プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。

サービス情報

アクセサリ

説明	部品番号
電源コード （米国用）	27.01818.000
電源コード （ヨーロッパ用）	27.82718.281
電源コード （イギリス用）	27.01018.000
S ビデオ ケーブル	50.72920.011
ビデオ ケーブル	50.J1303.501
携帯用ソフト ケース	47.J9904.001

電源コード（スイス用）..... 27.01218.051
電源コード（オーストラリア用）. 27.01343.001
電源コード（日本用）..... 27.03518.151
リモコン.....56.26J96.001
コンポーネントビデオ ケーブル ... 50.J7111.501

別売りアクセサリ

説明	部品番号	説明	部品番号
200W ランプモジュール.....	59.J9901.CG1	DVI-D ケーブル.....	50.J5702.501
天井取り付けキット.....	60.J7683.001		

部品の注文方法と情報の入手方法

製品情報、製品サポート、サービス情報、アクセサリの注文については、BenQ Corporation の Web サイト http://www.BenQ.com を参照してください。

トラブルシューティング

問題	原因	対応
プロジェクタの電源がオンにならない	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。
	冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
	ランプカバーがしっかり装着されていません。	ランプカバーを正しく装着しなおしてください。
画像が映らない	ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。
	入力信号が正しく選択されていません。	リモコンの Input（入力）ボタンを押すか、プロジェクタの Source（ソース）キーで正しい入力信号を選択します。
	レンズ キャップが装着されたままです。	レンズキャップを取り外します。
イメージが不安定	接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。
イメージがぼやける	投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。
	プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。
	レンズ キャップが装着されたままです。	レンズ キャップを取り外します。
リモコンが機能しない	電池が切れています。	新しい電池に交換します。
	リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。
	プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 8 メートル（26.2 フィート）以内の場所に立ちます。

仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学仕様

投写システム	1-CHIP DLP™
DMD チップ	0.53” DMD 480P （854 x 480）
レンズ	ズーム倍率 1.22 倍 , F/# 2.4 - 2.6, f= 24.0 - 29.1 mm
投写サイズ	31 ～ 300 inches
ランプ	200W ランプ

電気仕様

カラー規格	NTSC / PAL-M / PAL-N / PAL 60 / SECAM
解像度	SXGA, XGA, SVGA, VGA, Macintosh®, HDTV （1080i, 720p, 576p, 576i, 480p, 480i）
表示可能な最大色数	16,770,000 色 （フルカラーの場合）

入力端子

DVI-I (DVI-A / DVI-D)X1

コンポーネント	RCA ジャック x 3
S ビデオ	Mini DIN 4-pin ポート x 1
コンポジット ビデオ	RCA ジャック x 1

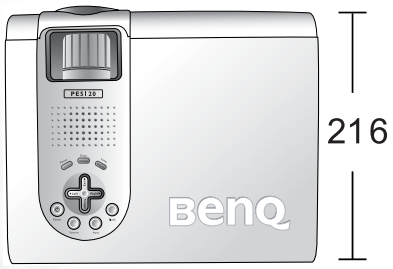
出力端子

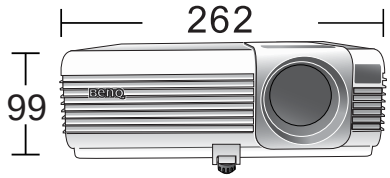
USB X 1

機械仕様

外形寸法	262 mm x 99 mm x 216 mm （幅 x 高さ x 奥行き）
重量	6.4 lbs / 2.9 kg
電源	VAC 100 - 240V, 3.2A, 50 / 60 Hz （自動）
消費電力	285W（最大）
動作温度範囲	0ºC - 40ºC
動作湿度	10% - 90% （結露なきこと）
動作高度	30ºC で 6000 フィート、最高 23ºC で 6000 - 10000 フィート
保管温度	-10ºC - 60ºC / 14ºF - 140ºF
保管湿度	10% - 90%

寸法





単位：mm